

この映画は

「認知症高齢者とその家族に光をくれる」希望の物語です

老いること、それは誰も避けることのできない人生の季節。
肩の荷を下ろすように、少しずつ過去のことを忘れていくのは自然なことです。
しかし、たとえば認知症。いまだに根本的な治療法はなく、
突然のことに本人も家族も戸惑います。
私たちは、この難しい病とどうつき合っていけば良いのでしょうか？
どうしたら人生の最後の季節を自分らしく生きることが出来るのでしょうか？

平均年齢80歳以上のアメリカ・オハイオ州にある高齢者介護施設。ここに暮らす多くの方が認知症です。スタッフのジョンは施設で暮らすおじいちゃんおばあちゃんに毎日たずねます。「僕の名前を知っていますか？」でも、答えはいつも「いいえ」。何度名前を伝えても覚えていません。そんな彼女たちが挑戦したある取り組み[★]が、彼女たちの毎日を変えていきます。それはスタッフと一緒に、読み書きや簡単な計算などを行うことで認知症の改善を目指すというもの。



エブリン（93歳）は認知症と診断されて2年。自分の名前も書けず、ジョンとの会話も噛み合いませんでした。しかし彼女にも大きな変化が表れます。趣味の編み物を再びはじめ、笑顔でジョンに話しかけるようになりました。そして、かつてお得意だった辛辣なジョークまで復活したのです。そのことは、ジョンやスタッフ、そして家族をも笑顔に変えました。この物語に登場する人たちの笑顔が、私たち誰もが抱える不安を希望に変えるヒントになるはずです。



★
「脳トレ」ブームの立役者である東北大学・川島隆太教授と、公文教育研究会、介護現場の協力によって生まれた認知症改善プログラム「学習療法」のこと。認知機能が衰えはじめた高齢者とスタッフが、対面でコミュニケーションを取りながら、簡単な「読み」「書き」「計算」を行うもので、現在、日本国内で1万人以上が実践しています。

www.bokujohn.jp  facebook.com/bokujohn

一般社団法人 福島県薬剤師会

〒960-8157 福島市蓬萊町二丁目 2-2 TEL.024-549-2198